

調査結果の概要

1 調査施設数

245施設より有効な調査票が提出され、うち、病院は158施設、病床を有する一般診療所は87施設である。

なお、調査日時点の調査対象施設数は、285施設であったため、回収率は86.0%である。

表 1 調査施設数

保健所別

医療施設の種別・病床規模		総 数	保 健 所 別									
			水戸市	中央	ひたちなか	日 立	潮 来	竜ヶ崎	土 浦	つくば	筑 西	古 河
総 数	総 数	245	37	17	41	24	17	30	22	21	20	16
	20床未満(診療所)	87	13	3	21	4	6	9	11	7	8	5
	20～49床	22	7	2	4	2	1	1	1	1	1	2
	50～99床	37	5	4	7	7	3	3	3	2	1	2
	100～199床	51	9	3	6	5	4	9	3	5	6	1
	200～299床	22	-	2	1	3	2	3	2	2	4	3
	300～499床	20	3	-	2	2	1	5	1	3	-	3
	500床以上	6	-	3	-	1	-	-	1	1	-	-
精神科病院	総 数	18	1	2	2	3	-	4	2	2	1	1
	20～49床	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～99床	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100～199床	7	1	-	1	1	-	2	1	-	1	-
	200～299床	9	-	1	1	1	-	2	1	2	-	1
	300～499床	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	500床以上	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
一般病院	総 数	140	23	12	18	17	11	17	9	12	11	10
	20～49床	22	7	2	4	2	1	1	1	1	1	2
	50～99床	37	5	4	7	7	3	3	3	2	1	2
	100～199床	44	8	3	5	4	4	7	2	5	5	1
	200～299床	13	-	1	-	2	2	1	1	-	4	2
	300～499床	19	3	-	2	1	1	5	1	3	-	3
	500床以上	5	-	2	-	1	-	-	1	1	-	-
病床を有する 一般診療所	総 数	87	13	3	21	4	6	9	11	7	8	5

保健医療圏別

医療施設の種別・病床規模		総 数	保 健 医 療 圏 別								
			水 戸	常陸太田・ ひたちなか	日 立	鹿 行	取手・ 竜ヶ崎	土 浦	つくば	筑西・下妻	古河・坂東
総 数	総 数	245	54	41	24	17	30	22	21	20	16
	20床未満(診療所)	87	16	21	4	6	9	11	7	8	5
	20～49床	22	9	4	2	1	1	1	1	1	2
	50～99床	37	9	7	7	3	3	3	2	1	2
	100～199床	51	12	6	5	4	9	3	5	6	1
	200～299床	22	2	1	3	2	3	2	2	4	3
	300～499床	20	3	2	2	1	5	1	3	－	3
	500床以上	6	3	－	1	－	－	1	1	－	－
精神科病院	総 数	18	3	2	3	－	4	2	2	1	1
	20～49床	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～99床	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	100～199床	7	1	1	1	－	2	1	－	1	－
	200～299床	9	1	1	1	－	2	1	2	－	1
	300～499床	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－
	500床以上	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
一般病院	総 数	140	35	18	17	11	17	9	12	11	10
	20～49床	22	9	4	2	1	1	1	1	1	2
	50～99床	37	9	7	7	3	3	3	2	1	2
	100～199床	44	11	5	4	4	7	2	5	5	1
	200～299床	13	1	－	2	2	1	1	－	4	2
	300～499床	19	3	2	1	1	5	1	3	－	3
	500床以上	5	2	－	1	－	－	1	1	－	－
病床を有する 一般診療所	総 数	87	16	21	4	6	9	11	7	8	5

2 患者数

調査日に県内の調査対象施設で受療した患者数は、63,412人で、これは県民45人に1人が受療したことになる。

(1) 医療施設の種別にみた患者数 (表2)

医療施設の種別に患者数をみると、精神科病院4,521人(患者総数の7.1%)、一般病院52,339人(同82.5%)で、病床を有する一般診療所は6,552人(同10.3%)である。

次に入院・外来別にみると入院患者では21,666人のうち精神科病院3,217人(入院患者総数の14.8%)、一般病院17,895人(同82.6%)で、病床を有する一般診療所は554人(同2.6%)である。

外来患者は、41,746人のうち精神科病院1,304人(外来患者総数の3.1%)、一般病院34,444人(同82.5%)で、病床を有する一般診療所は5,998人(同14.4%)である。

表2 入院・外来・医療施設の種別にみた患者数と構成割合

	患者数(人)			構成割合(%)					
	総数	入院	外来	医療施設種別			入院・外来		
				総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	63,412	21,666	41,746	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	34.2%	65.8%
精神科病院	4,521	3,217	1,304	7.1%	14.8%	3.1%	100.0%	71.2%	28.8%
一般病院	52,339	17,895	34,444	82.5%	82.6%	82.5%	100.0%	34.2%	65.8%
病床を有する一般診療所	6,552	554	5,998	10.3%	2.6%	14.4%	100.0%	8.5%	91.5%

(2) 性・年齢階級別にみた患者数 (表3)

性別に患者数の構成割合をみると、男性は29,802人(患者総数の47.0%)、女性は33,606人(同53.0%)と女性が多い。

これを入院・外来別にみると、入院患者では、男性が10,407人(入院患者総数の48.0%)、女性が11,256人(同52.0%)、外来患者では、男性が19,395人(外来患者総数の46.5%)、女性が22,350人(同53.5%)といずれも女性が多い。

また、年齢階級別にみると、80歳以上が15,942人(患者総数の25.1%)と最も多く、次いで、70～74歳が8,578人(同13.5%)、75～79歳が7,448人(同11.7%)の順となっている。

なお、65歳以上の患者数は、37,910人で患者総数の59.8%を占めている。

表3 入院・外来・性・年齢階級別にみた患者数と構成割合

性・年齢階級	患者数(人)			構成割合(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	63,412	21,666	41,746	100.0%	100.0%	100.0%
男	29,802	10,407	19,395	47.0%	48.0%	46.5%
女	33,606	11,256	22,350	53.0%	52.0%	53.5%
性別不詳	4	3	1	0.0%	0.0%	0.0%
0～4	1,403	264	1,139	2.2%	1.2%	2.7%
5～9	800	76	724	1.3%	0.4%	1.7%
10～14	730	67	663	1.2%	0.3%	1.6%
15～19	766	133	633	1.2%	0.6%	1.5%
20～24	951	177	774	1.5%	0.8%	1.9%
25～29	1,446	279	1,167	2.3%	1.3%	2.8%
30～34	1,763	344	1,419	2.8%	1.6%	3.4%
35～39	1,975	371	1,604	3.1%	1.7%	3.8%
40～44	2,059	410	1,649	3.2%	1.9%	4.0%
45～49	2,752	651	2,101	4.3%	3.0%	5.0%
50～54	3,279	905	2,374	5.2%	4.2%	5.7%
55～59	3,337	993	2,344	5.3%	4.6%	5.6%
60～64	4,169	1,341	2,828	6.6%	6.2%	6.8%
65～69	5,942	1,941	4,001	9.4%	9.0%	9.6%
70～74	8,578	2,812	5,766	13.5%	13.0%	13.8%
75～79	7,448	2,615	4,833	11.7%	12.1%	11.6%
80歳以上	15,942	8,261	7,681	25.1%	38.1%	18.4%
年齢不詳	72	26	46	0.1%	0.1%	0.1%
65歳以上(再掲)	37,910	15,629	22,281	59.8%	72.1%	53.4%
70歳以上(再掲)	31,968	13,688	18,280	50.4%	63.2%	43.8%
75歳以上(再掲)	23,390	10,876	12,514	36.9%	50.2%	30.0%

(3) 傷病大分類別にみた患者数 (表 4)

傷病大分類別にみると、「循環器系の疾患」が 9,566 人で患者総数の 15.1% を占め、最も多い。続いて「精神及び行動の障害」6,525 人(患者総数の 10.3%)、「新生物」6,087 人(同 9.6%) の順になっている。

これを入院・外来別にみると入院では「精神及び行動の障害」が 4,490 人で入院患者総数の 20.7% を占め、最も多い。続いて「循環器系の疾患」3,869 人(入院患者総数の 17.9%)、「新生物」2,197 人(同 10.1%) の順になっている。

また、外来では、「循環器系の疾患」が 5,697 人で外来患者総数の 13.6% を占め、最も多い。続いて「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」4,371 人(同 10.5%)、「腎尿路生殖器系の疾患」4,318 人(同 10.3%) の順になっている。

表 4 傷病大分類別にみた患者数・構成割合と順位

傷病大分類	患者数			構成割合と順位					
	総数	入院	外来	総数		入院		外来	
				率	順位	入院	順位	外来	順位
総数	63,412	21,666	41,746	100.0	—	100.0	—	100.0	—
I 感染症及び寄生虫症	1,168	402	766	1.8	15	1.9	11	1.8	15
結核(再掲)	47	29	18	0.1	—	0.1	—	0.0	—
II 新生物	6,087	2,197	3,890	9.6	3	10.1	3	9.3	5
胃の悪性新生物(再掲)	394	197	197	0.6	—	0.9	—	0.5	—
結腸及び直腸の悪性新生物(再掲)	788	329	459	1.2	—	1.5	—	1.1	—
気管、気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	592	315	277	0.9	—	1.5	—	0.7	—
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	495	159	336	0.8	18	0.7	17	0.8	18
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	3,114	479	2,635	4.9	10	2.2	10	6.3	7
糖尿病(再掲)	1,807	247	1,560	2.8	—	1.1	—	3.7	—
V 精神及び行動の障害	6,525	4,490	2,035	10.3	2	20.7	1	4.9	9
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	3,617	2,938	679	5.7	—	13.6	—	1.6	—
VI 神経系の疾患	2,649	1,414	1,235	4.2	11	6.5	6	3.0	13
VII 眼及び付属器の疾患	2,352	223	2,129	3.7	12	1.0	14	5.1	8
VIII 耳及び乳様突起の疾患	369	32	337	0.6	19	0.1	21	0.8	17
IX 循環器系の疾患	9,566	3,869	5,697	15.1	1	17.9	2	13.6	1
高血圧性疾患(再掲)	2,668	100	2,568	4.2	—	0.5	—	6.2	—
心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲)	2,970	1,164	1,806	4.7	—	5.4	—	4.3	—
脳血管疾患(再掲)	3,288	2,385	903	5.2	—	11.0	—	2.2	—
X 呼吸器系の疾患	3,317	1,543	1,774	5.2	9	7.1	5	4.2	11
肺炎(再掲)	831	765	66	1.3	—	3.5	—	0.2	—
X I 消化器系の疾患	4,115	1,335	2,780	6.5	7	6.2	7	6.7	6
肝疾患(再掲)	351	121	230	0.6	—	0.6	—	0.6	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1,426	223	1,203	2.2	14	1.0	14	2.9	14
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,128	1,143	3,985	8.1	5	5.3	8	9.5	4
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	5,288	970	4,318	8.3	4	4.5	9	10.3	3
X V 妊娠、分娩及び産じょく	536	328	208	0.8	17	1.5	12	0.5	19
X VI 周産期に発生した病態	134	95	39	0.2	21	0.4	19	0.1	21
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	302	94	208	0.5	20	0.4	20	0.5	19
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,524	252	1,272	2.4	13	1.2	13	3.0	12
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3,926	2,072	1,854	6.2	8	9.6	4	4.4	10
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,530	159	4,371	7.1	6	0.7	17	10.5	2
不詳	861	187	674	1.4	16	0.9	16	1.6	16

(4) 受診経路別にみた患者数 (表 5 ・表 6)

受診経路別に患者数をみると病院からの紹介によるもの 8, 4 1 5 人 (患者総数の 1 3 . 3 %)、一般診療所からの紹介によるもの 3, 2 1 3 人 (同 5 . 1 %)、歯科診療所からの紹介によるもの 5 1 人 (同 0 . 1 %)、介護老人保健施設からの紹介によるもの 6 9 6 人 (同 1 . 1 %)、介護老人福祉施設からの紹介によるもの 5 8 7 人 (同 0 . 9 %)、その他からの紹介によるもの 2, 5 2 4 人 (同 4 . 0 %)、紹介のないもの 4 3, 0 3 3 人 (同 6 7 . 9 %) となっている。

これを入院・外来別にみると、病院からの紹介によるものは、入院患者 6, 6 5 3 人 (当該紹介患者の 7 9 . 1 %)、外来患者 1, 7 6 2 人 (同 2 0 . 9 %) であり、一般診療所からの紹介によるものは入院患者 1, 7 7 9 人 (当該紹介患者の 5 5 . 4 %)、外来患者 1, 4 3 4 人 (同 4 4 . 6 %) で、介護老人保健施設からの紹介によるものは入院患者 6 6 5 人 (当該紹介患者の 9 5 . 5 %)、外来患者 3 1 人 (同 4 . 5 %)、その他からの紹介によるものは入院患者 1, 4 3 0 人 (当該紹介患者の 5 6 . 7 %)、外来患者 1, 0 9 4 人 (同 4 3 . 3 %) である。

また、紹介のないものは入院患者 9, 8 3 5 人 (当該患者の 2 2 . 9 %)、外来患者 3 3, 1 9 8 人 (同 7 7 . 1 %) となっている。

さらに、傷病大分類別にみると病院からの紹介で多いものは、「循環器系の疾患」1, 9 9 2 人 (当該紹介患者の 2 3 . 7 %)、「精神及び行動の障害」1, 4 7 4 人 (同 1 7 . 5 %)、「新生物」9 6 5 人 (同 1 1 . 5 %) などであり、一般診療所からの紹介では、「新生物」5 3 1 人 (当該紹介患者の 1 6 . 5 %)、「循環器系の疾患」3 8 5 人 (同 1 2 . 0 %)、「精神及び行動の障害」2 7 8 人 (同 8 . 7 %) である。

表 5 受診経路別にみた入院 - 外来患者数と構成割合

	患者数 (人)			構成割合 (%)			入院－外来 (%)		
	総 数	入 院	外 来	総 数	入 院	外 来	総 数	入 院	外 来
総 数	63,412	21,666	41,746	100.0	100.0	100.0	100.0	34.2	65.8
病院からの紹介	8,415	6,653	1,762	13.3	30.7	4.2	100.0	79.1	20.9
一般診療所からの紹介	3,213	1,779	1,434	5.1	8.2	3.4	100.0	55.4	44.6
歯科診療所からの紹介	51	15	36	0.1	0.1	0.1	100.0	29.4	70.6
介護老人保健施設からの紹介	696	665	31	1.1	3.1	0.1	100.0	95.5	4.5
介護老人福祉施設からの紹介	587	549	38	0.9	2.5	0.1	100.0	93.5	6.5
その他からの紹介	2,524	1,430	1,094	4.0	6.6	2.6	100.0	56.7	43.3
紹 介 な し	43,033	9,835	33,198	67.9	45.4	79.5	100.0	22.9	77.1

表 6 受診経路別にみた傷病大分類別の順位

	順位	傷病大分類	患者数 (人)	構成割合 (%)
病院からの紹介	1位	IX 循環器系の疾患	1,992	23.7
	2位	V 精神及び行動の障害	1,474	17.5
	3位	II 新生物	965	11.5
	4位	XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	732	8.7
	5位	VI 神経系の疾患	688	8.2
一般診療所からの紹介	1位	II 新生物	531	16.5
	2位	IX 循環器系の疾患	385	12.0
	3位	V 精神及び行動の障害	278	8.7
	4位	XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	263	8.2
	5位	X I 消化器系の疾患	254	7.9
歯科診療所からの紹介	1位	X I 消化器系の疾患	37	72.5
	2位	II 新生物	3	5.9
	2位	X 呼吸器系の疾患	3	5.9
介護老人保健施設からの紹介	1位	IX 循環器系の疾患	180	25.9
	2位	X 呼吸器系の疾患	149	21.4
	3位	V 精神及び行動の障害	66	9.5
	4位	X I 消化器系の疾患	50	7.2
	5位	XIV 腎尿路生殖器系の疾患	48	6.9
介護老人福祉施設からの紹介	1位	X 呼吸器系の疾患	159	27.1
	2位	IX 循環器系の疾患	99	16.9
	3位	XIV 腎尿路生殖器系の疾患	52	8.9
	4位	V 精神及び行動の障害	49	8.3
	5位	VI 神経系の疾患	46	7.8
その他からの紹介	1位	V 精神及び行動の障害	686	27.2
	2位	II 新生物	261	10.3
	3位	VI 神経系の疾患	257	10.2
	4位	IX 循環器系の疾患	190	7.5
	5位	XIV 腎尿路生殖器系の疾患	188	7.4
紹介なし	1位	IX 循環器系の疾患	5,994	13.9
	2位	XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,163	9.7
	3位	V 精神及び行動の障害	3,875	9.0
	4位	XIV 腎尿路生殖器系の疾患	3,861	9.0
	5位	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	3,857	9.0

3 受療率

県内の受療率（人口１０万に対する患者数）は２，２１２である。
これを入院・外来別にみると、入院７５６、外来１，４５６となっている。

（１）性・年齢階級別にみた受療率（図１・表７）

性別に受療率をみると、男性２，０８３、女性２，３４０と女性が多い。

年齢階級別にみると、１５～１９歳が最も低く、年齢が高くなるにしたがって受療率は高くなり、８０歳以上では６，３８５と最も高くなっている。さらに性・年齢階級別にみると、０～１４歳、５５歳以上は男性が多い。

入院・外来別にみると、入院患者では、男性が７２７、女性が７８４、外来患者では、男性が１，３５５、女性が１，５５６といずれも女性が多い。

図１ 性・年齢階級別にみた受療率

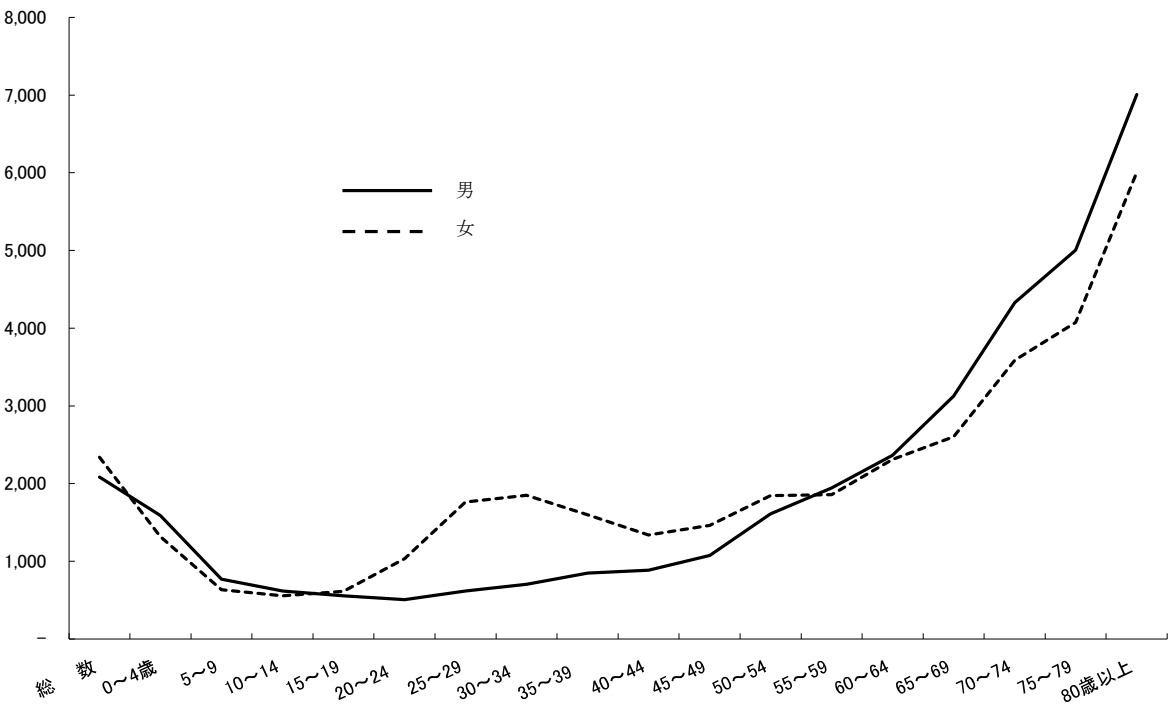


表７ 入院 - 外来・性・年齢階級別にみた受療率

	総数			入院			外来		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総 数	2,212	2,083	2,340	756	727	784	1,456	1,355	1,556
0～4歳	1,457	1,588	1,320	274	323	223	1,183	1,265	1,097
5～9	704	769	636	67	58	76	637	710	560
10～14	589	619	558	54	52	56	535	568	501
15～19	584	555	615	101	96	107	483	459	508
20～24	754	510	1,035	140	110	175	614	400	859
25～29	1,140	617	1,762	220	126	331	920	491	1,430
30～34	1,241	706	1,848	242	173	320	999	532	1,528
35～39	1,208	847	1,599	227	194	263	981	653	1,337
40～44	1,103	885	1,339	220	226	213	884	660	1,126
45～49	1,262	1,077	1,463	299	291	306	964	786	1,157
50～54	1,724	1,610	1,847	476	533	414	1,248	1,076	1,432
55～59	1,902	1,946	1,856	566	679	451	1,336	1,267	1,406
60～64	2,338	2,366	2,310	752	828	675	1,586	1,537	1,635
65～69	2,860	3,128	2,602	934	1,099	776	1,926	2,029	1,826
70～74	3,944	4,328	3,587	1,293	1,532	1,070	2,651	2,796	2,516
75～79	4,515	5,006	4,073	1,585	1,761	1,426	2,929	3,245	2,646
80歳以上	6,385	7,007	6,006	3,309	3,317	3,303	3,076	3,690	2,703
65歳以上(再掲)	4,514	4,812	4,267	1,861	1,907	1,822	2,653	2,905	2,445
70歳以上(再掲)	5,057	5,432	4,764	2,165	2,205	2,134	2,892	3,227	2,630
75歳以上(再掲)	5,641	6,104	5,311	2,623	2,615	2,628	3,018	3,489	2,682

(2) 傷病大分類にみた受療率 (図 2 ・ 表 8)

傷病大分類に受療率をみると、「循環器系の疾患」(3 3 4) が高く、次いで「精神及び行動の障害」、「新生物」、「腎尿路生殖器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」の順になっている。

性別にみると、男性は「循環器系の疾患」(3 3 6) が最も高く、次いで「精神及び行動の障害」、「新生物」、「腎尿路生殖器系の疾患」、「消化器系の疾患」の順であり、女性は「循環器系の疾患」(3 3 1) が最も高く、次いで「精神及び行動の障害」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「新生物」、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」の順となっている。

入院・外来別にみると入院は、「精神及び行動の障害」(1 5 7) が最も多く、次いで「循環器系の疾患」、「新生物」の順であり、外来は、「循環器系の疾患」(1 9 9) が最も高く、次いで「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「腎尿路生殖器系の疾患」の順となっている。

図 2 性・傷病大分類にみた受療率

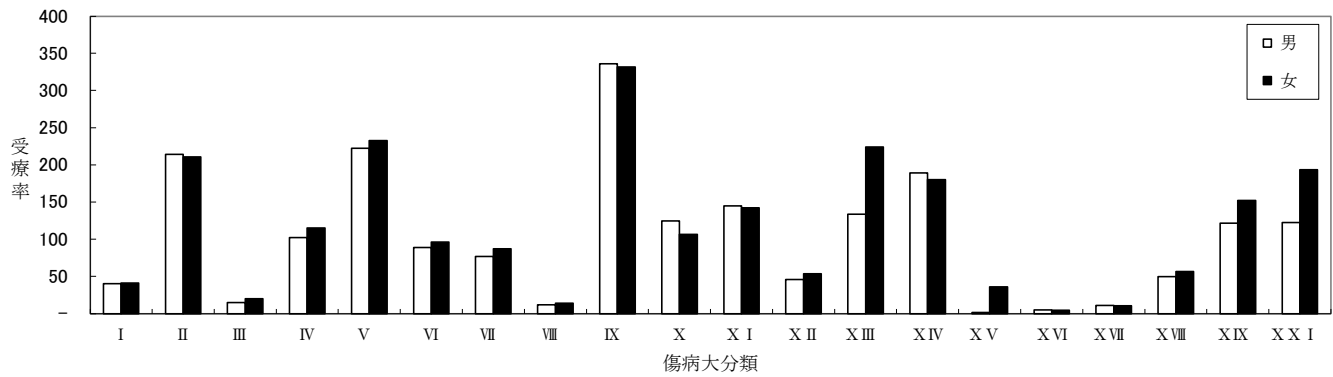


表 8 性・傷病大分類にみた受療率

傷病大分類	総数			入院			外来		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	2,212	2,083	2,340	756	727	784	1,456	1,355	1,556
I 感染症及び寄生虫症	41	40	41	14	14	14	27	26	27
結核(再掲)	2	1	2	1	1	1	1	1	1
II 新生物	212	214	211	77	91	63	136	123	148
胃の悪性新生物(再掲)	14	18	9	7	9	4	7	9	5
結腸及び直腸の悪性新生物(再掲)	27	32	23	11	14	9	16	18	14
気管, 気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	21	29	12	11	16	6	10	13	6
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	17	15	20	6	6	5	12	9	14
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	109	102	115	17	16	18	92	87	97
糖尿病(再掲)	63	71	55	9	9	8	54	62	47
V 精神及び行動の障害	228	222	233	157	156	157	71	66	75
統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	126	127	125	102	105	100	24	22	25
VI 神経系の疾患	92	89	96	49	45	53	43	43	43
VII 眼及び付属器の疾患	82	77	87	8	7	8	74	70	79
VIII 耳及び乳様突起の疾患	13	12	14	1	1	1	12	11	13
IX 循環器系の疾患	334	336	331	135	130	140	199	206	192
高血圧性疾患(再掲)	93	85	101	3	2	5	90	82	97
心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲)	104	111	96	41	38	43	63	73	53
脳血管疾患(再掲)	115	116	113	83	81	85	31	35	28
X 呼吸器系の疾患	116	125	107	54	60	47	62	64	59
肺炎(再掲)	29	30	28	27	28	25	2	2	2
X I 消化器系の疾患	144	145	142	47	50	43	97	95	99
肝疾患(再掲)	12	13	12	4	5	4	8	8	8
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	50	46	54	8	7	9	42	39	45
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	179	134	224	40	31	49	139	103	175
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	184	189	180	34	35	33	151	154	147
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	19	2	36	11	1	22	7	1	14
X VI 周産期に発生した病態	5	5	5	3	4	3	1	1	2
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	11	11	10	3	4	3	7	7	7
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	53	50	57	9	6	11	44	43	46
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	137	122	152	72	57	88	65	65	65
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	158	123	193	6	2	9	152	120	184

4 受療動向

(1) 入院患者の受療動向（一般病床および療養病床）

ア 自足の状況（図3・表9）

入院患者の自足率が50%以上の市町村をみると、結城市、日立市など4市が70%以上となっており、自足率50%以上の市町村数は、18市町村となっている。

また、自足率が50%に満たない市町村は、26市町村あり、そのうちかすみがうら市、城里町、鉾田市は20%未満となっている。なお、潮来市など7市町は、調査対象となる医療施設がないため、自足率は0となっている。

さらに医療圏別の受療状況をみると日立保健医療圏が90.2%と最も自足率が高く、以下、水戸保健医療圏が85.4%、古河・坂東保健医療圏が78.9%の順となっている。

但し、県内医療機関で受診した患者を調査客体としているため、県外医療機関で受診した患者については考慮されていない点に留意されたい。

図3 自足率（一般病床および療養病床における入院患者）

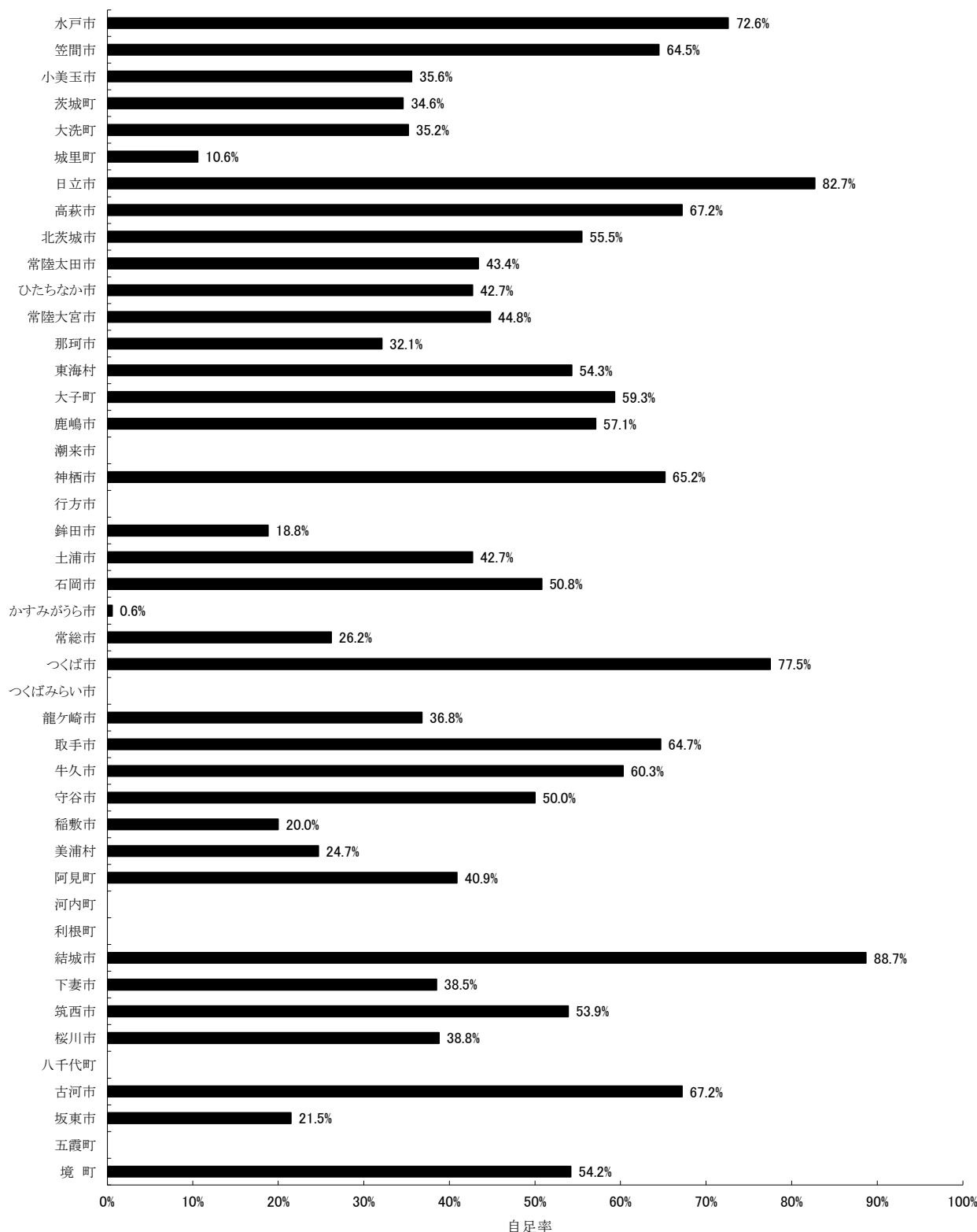


表 9 一般病床及び療養病床における入院患者の医療圏別受療状況

【入院患者数】 (単位：人)

住 所 地	施 設 所 在 地									
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	総 数
水戸保健医療圏	2,238	16	116	8	153	48	18	23	－	2,620
日立保健医療圏	63	1,477	75	－	2	12	8	－	－	1,637
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	558	144	1,295	2	9	33	1	4	－	2,046
鹿行保健医療圏	214	3	16	869	164	48	66	3	－	1,383
土浦保健医療圏	85	1	13	4	694	243	191	3	－	1,234
つくば保健医療圏	13	－	9	－	41	1,071	334	20	3	1,491
取手・竜ヶ崎保健医療圏	20	1	5	7	106	348	1,784	4	－	2,275
筑西・下妻保健医療圏	30	1	8	－	13	321	18	1,000	25	1,416
古河・坂東保健医療圏	3	－	1	－	3	132	57	28	836	1,060
県内(市町村不詳)	71	1	8	－	－	8	25	－	－	113
県 内	3,295	1,644	1,546	890	1,185	2,264	2,502	1,085	864	15,275
県 外	69	39	41	134	31	87	168	211	207	987
住 所 地 不 詳	－	2	43	－	1	1	－	2	－	49
総 数	3,364	1,685	1,630	1,024	1,217	2,352	2,670	1,298	1,071	16,311

【自足率・依存率】 (単位：％)

住 所 地	施 設 所 在 地									
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	総 数
水戸保健医療圏	85.4%	0.6%	4.4%	0.3%	5.8%	1.8%	0.7%	0.9%	0.0%	100.0%
日立保健医療圏	3.8%	90.2%	4.6%	0.0%	0.1%	0.7%	0.5%	0.0%	0.0%	100.0%
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	27.3%	7.0%	63.3%	0.1%	0.4%	1.6%	0.0%	0.2%	0.0%	100.0%
鹿行保健医療圏	15.5%	0.2%	1.2%	62.8%	11.9%	3.5%	4.8%	0.2%	0.0%	100.0%
土浦保健医療圏	6.9%	0.1%	1.1%	0.3%	56.2%	19.7%	15.5%	0.2%	0.0%	100.0%
つくば保健医療圏	0.9%	0.0%	0.6%	0.0%	2.7%	71.8%	22.4%	1.3%	0.2%	100.0%
取手・竜ヶ崎保健医療圏	0.9%	0.0%	0.2%	0.3%	4.7%	15.3%	78.4%	0.2%	0.0%	100.0%
筑西・下妻保健医療圏	2.1%	0.1%	0.6%	0.0%	0.9%	22.7%	1.3%	70.6%	1.8%	100.0%
古河・坂東保健医療圏	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%	12.5%	5.4%	2.6%	78.9%	100.0%
県 内	21.6%	10.8%	10.1%	5.8%	7.8%	14.8%	16.4%	7.1%	5.7%	100.0%
県 外	7.0%	4.0%	4.2%	13.6%	3.1%	8.8%	17.0%	21.4%	21.0%	100.0%

イ 依存の状況（表 10・図 4）

特定の市町村への依存率の高い市町村をみると、五霞町から古河市への依存率が 80.0％と最も高く、次いで、かすみがうら市から土浦市への依存率が 54.8％、潮来市から鹿嶋市への依存率が 53.6％、常総市からつくば市への依存率が 48.7％、下妻市からつくば市への依存率 45.7％の順となっており、特定の市町村への依存率が 30％を超える市町村は 15 市町村となっている。

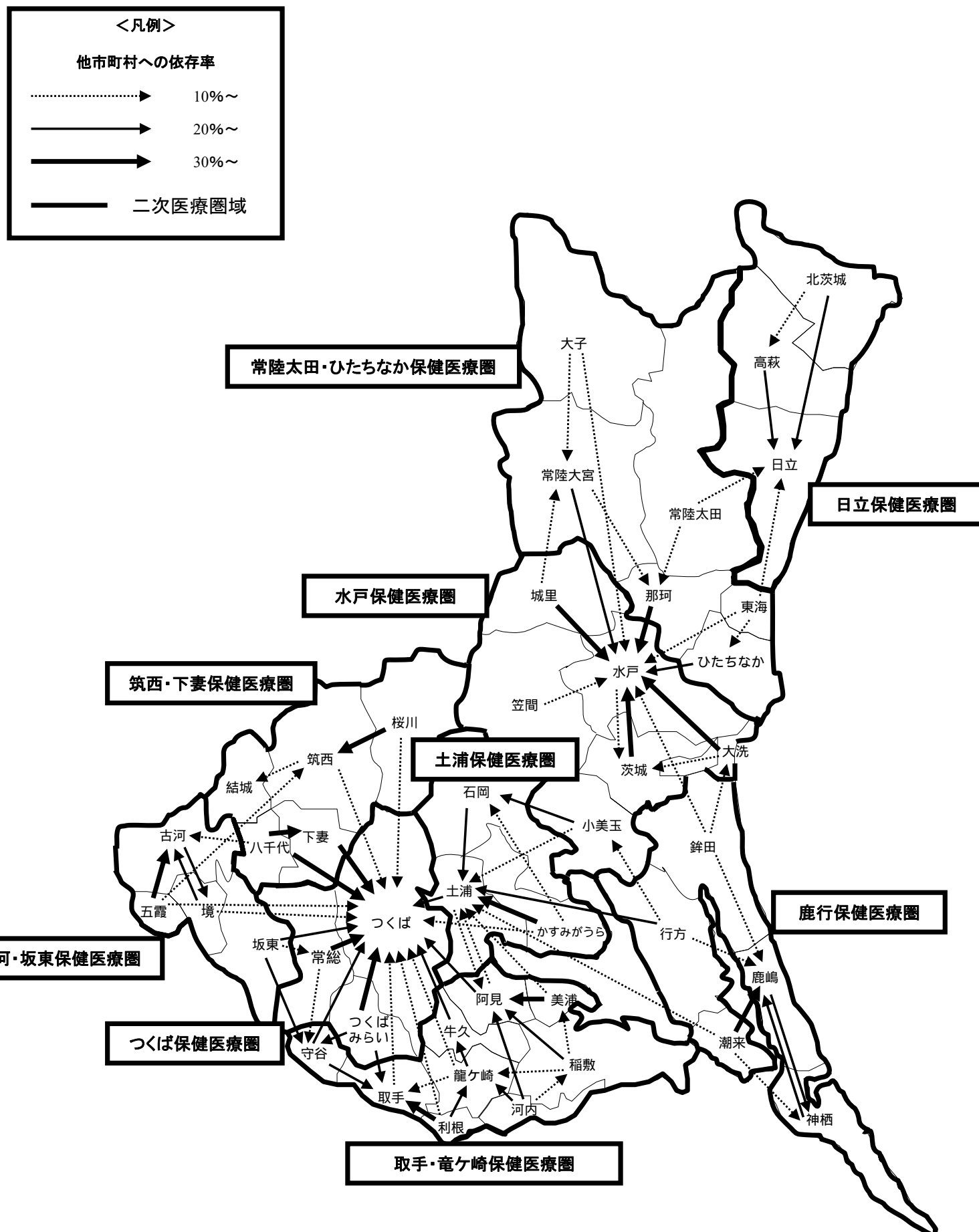
なお、特定の市町村への依存率の状況は図 4 のとおりである。

表 10 特定の他市町村への依存率が高い市町村

(単位：％)

特定の市町	依存率が30%以上の市町村
水 戸 市 (4)	茨 城 町 (42.9) 城 里 町 (42.4) 那 珂 市 (33.6) 大 洗 町 (33.3)
鹿 嶋 市 (1)	潮 来 市 (53.6)
土 浦 市 (1)	か す み が う ら 市 (54.8)
つ く ば 市 (4)	常 総 市 (48.7) 下 妻 市 (45.7) 八 千 代 町 (41.9) つ く ば み ら い 市 (39.6)
取 手 市 (1)	利 根 町 (40.5)
阿 見 町 (1)	美 浦 村 (37.7)
下 妻 市 (1)	八 千 代 町 (32.6)
筑 西 市 (1)	桜 川 市 (31.8)
古 河 市 (1)	五 霞 町 (80.0)

図4 一般および療養病床における入院患者の受療動向



（２）外来患者の受療動向

ア 自足の状況（図５・表１１）

外来患者の自足率が５０％以上の市町村をみると、日立市、結城市、つくば市、水戸市が８０％以上、取手市、古河市など４市町が７０％以上となっており、自足率５０％以上の市町村数は、２６市町村となっている。

また、自足率が５０％に満たない市町村は、１８市町あり、そのうち大洗町など４市町は２０％未満となっている。なお、潮来市など６市町は、調査対象となる医療施設がないため、自足率は０となっている。

さらに医療圏別の受療状況をみると日立保健医療圏が８９．４％と最も自足率が高く、以下、古河・坂東保健医療圏が８５．７％、水戸保健医療圏が８４．２％の順となっている。

但し、県内医療機関で受診した患者を調査客体としているため、県外医療機関で受診した患者については考慮されていない点に留意されたい。

図５ 自足率（外来患者）

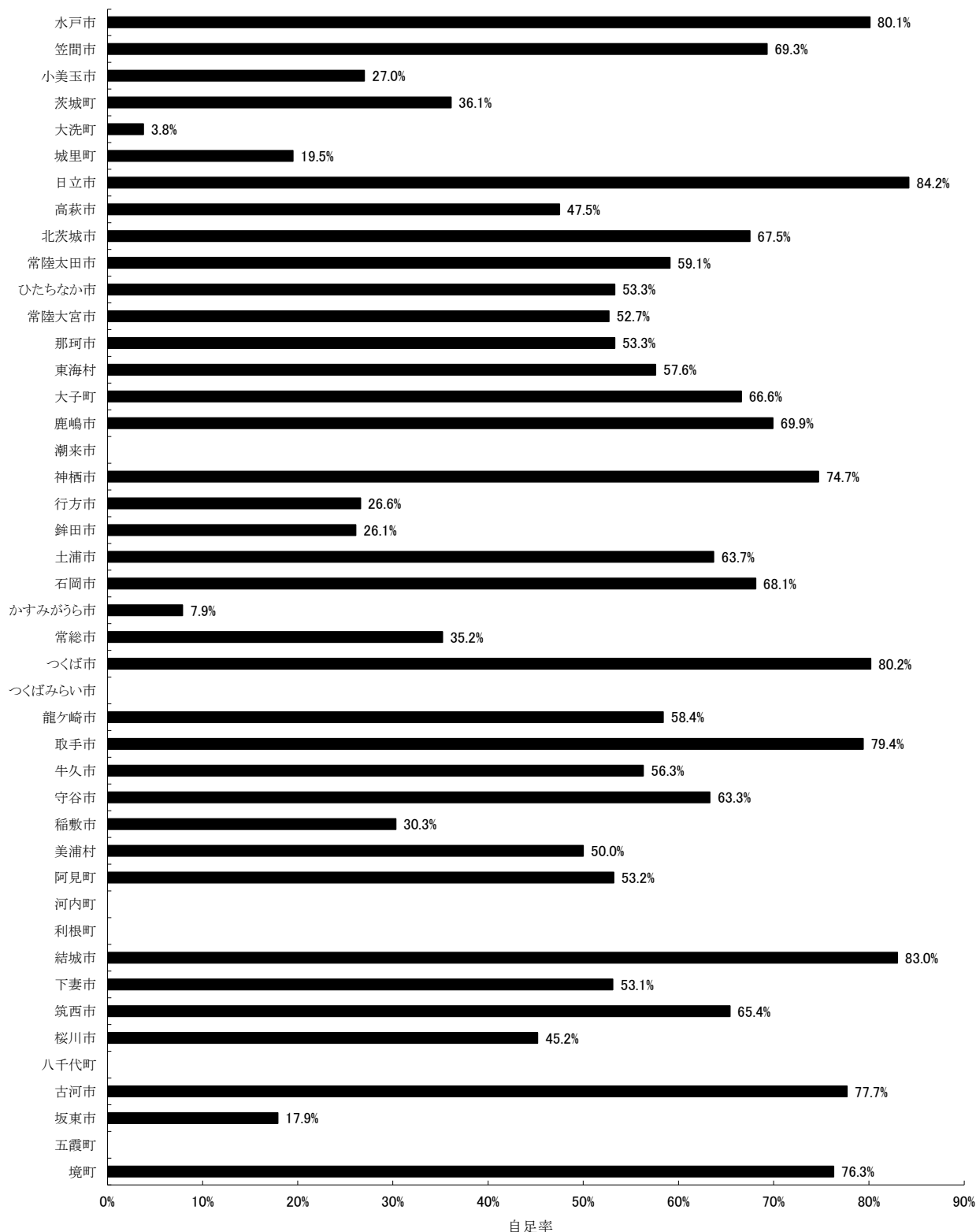


表 1 1 外来患者の医療圏別受療状況

【外来患者数】

(単位：人)

住 所 地	施 設 所 在 地									
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	総 数
水戸保健医療圏	5,870	32	292	11	622	110	17	20	1	6,975
日立保健医療圏	199	3,295	158	2	3	25	2	－	－	3,684
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	1,435	209	4,428	2	12	55	6	1	1	6,149
鹿行保健医療圏	359	2	36	3,040	455	84	86	－	－	4,062
土浦保健医療圏	211	1	6	3	3,097	465	258	11	3	4,055
つくば保健医療圏	27	1	4	3	116	2,519	673	26	32	3,401
取手・竜ヶ崎保健医療圏	25	1	4	12	313	725	4,719	4	－	5,803
筑西・下妻保健医療圏	85	－	2	3	25	472	20	2,247	160	3,014
古河・坂東保健医療圏	9	－	－	－	4	254	120	45	2,590	3,022
県内(市町村不詳)	29	2	3	1	9	70	－	1	12	127
県 内	8,249	3,543	4,933	3,077	4,656	4,779	5,901	2,355	2,799	40,292
県 外	89	64	78	127	52	163	208	165	456	1,402
住 所 地 不 詳	15	1	10	3	3	12	3	4	1	52
総 数	8,353	3,608	5,021	3,207	4,711	4,954	6,112	2,524	3,256	41,746

【自足率・依存率】

(単位：％)

住 所 地	施 設 所 在 地									
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	総 数
水戸保健医療圏	84.2	0.5	4.2	0.2	8.9	1.6	0.2	0.3	0.0	100.0
日立保健医療圏	5.4	89.4	4.3	0.1	0.1	0.7	0.1	－	－	100.0
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	23.3	3.4	72.0	0.0	0.2	0.9	0.1	0.0	0.0	100.0
鹿行保健医療圏	8.8	0.0	0.9	74.8	11.2	2.1	2.1	－	－	100.0
土浦保健医療圏	5.2	0.0	0.1	0.1	76.4	11.5	6.4	0.3	0.1	100.0
つくば保健医療圏	0.8	0.0	0.1	0.1	3.4	74.1	19.8	0.8	0.9	100.0
取手・竜ヶ崎保健医療圏	0.4	0.0	0.1	0.2	5.4	12.5	81.3	0.1	－	100.0
筑西・下妻保健医療圏	2.8	－	0.1	0.1	0.8	15.7	0.7	74.6	5.3	100.0
古河・坂東保健医療圏	0.3	－	－	－	0.1	8.4	4.0	1.5	85.7	100.0
県 内	20.5	8.8	12.2	7.6	11.6	11.9	14.6	5.8	6.9	100.0
県 外	6.3	4.6	5.6	9.1	3.7	11.6	14.8	11.8	32.5	100.0

イ 依存の状況（表 1 2 ・図 6 ）

特定の市町村への依存率の高い市町村をみると、五霞町から境町への依存率が 6 4 . 8 % と最も高く、次いで、大洗町から水戸市への依存率が 6 1 . 8 %、かすみがうら市から土浦市への依存率 5 9 . 1 %、潮来市から鹿嶋市への依存率が 5 0 . 4 %、小美玉市から石岡市への依存率が 5 0 . 4 % の順となっており、特定の市町村への依存率が 3 0 % を超える市町村は 1 5 市町となっている。

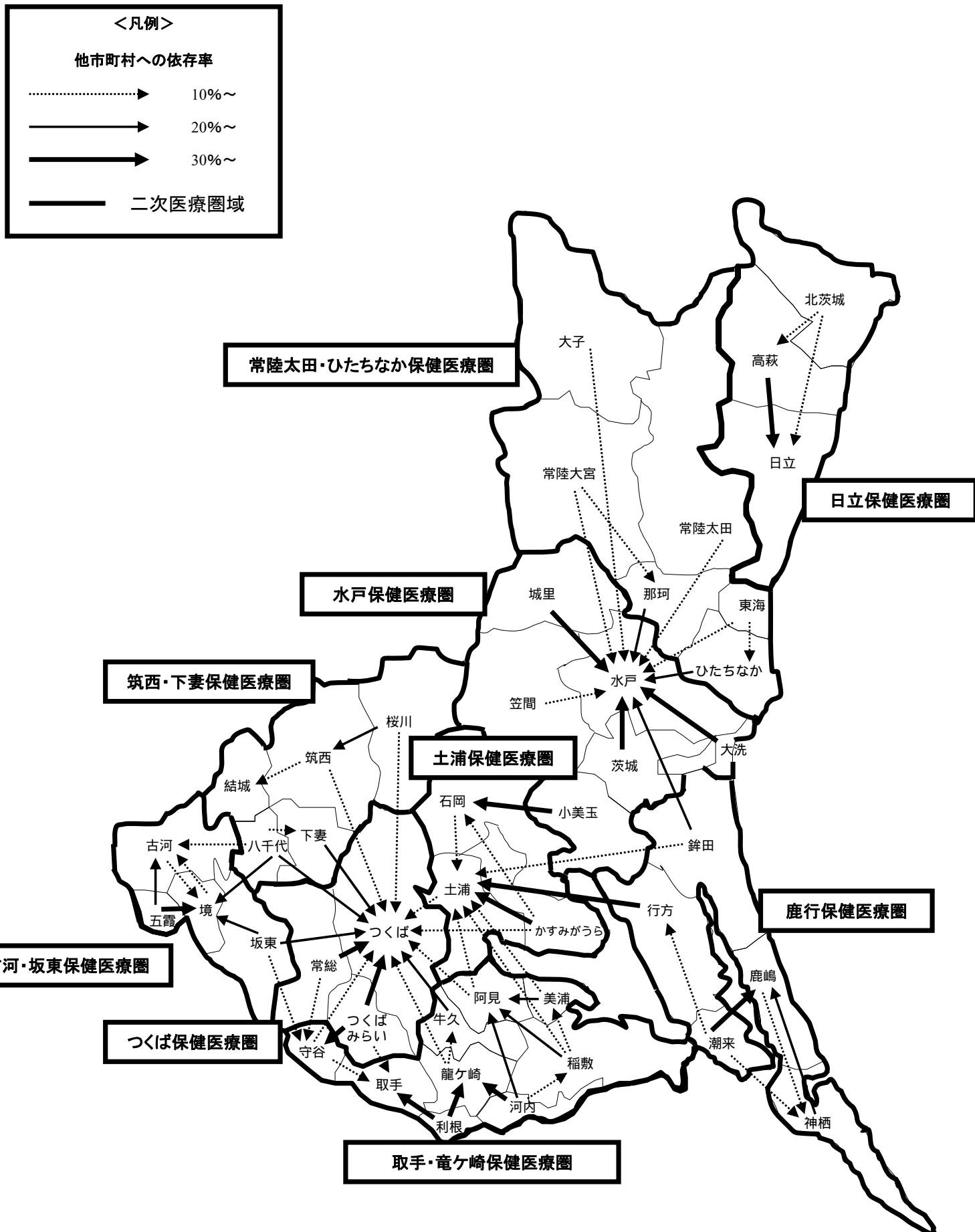
なお、特定の市町村への依存率の状況は図 6 のとおりである。

表 1 2 特定の他市町村への依存率が高い市町村

(単位：％)

特定の市町		依存率が30％以上の市町		
水 戸 市	(3)	大 洗 町 (6 1 . 8)	茨 城 町 (4 7 . 5)	城 里 町 (4 7 . 4)
日 立 市	(1)	高 萩 市 (3 9 . 8)		
鹿 嶋 市	(1)	潮 来 市 (5 0 . 4)		
土 浦 市	(2)	か す み が う ら 市 (5 9 . 1)	行 方 市 (3 2 . 9)	
石 岡 市	(1)	小 美 玉 市 (5 0 . 4)		
つ く ば 市	(2)	つ く ば み ら い 市 (4 3 . 0)	常 総 市 (4 0 . 2)	
龍 ケ 崎 市	(2)	利 根 町 (3 8 . 8)	河 内 町 (3 1 . 4)	
取 手 市	(1)	利 根 町 (3 6 . 8)		
守 谷 市	(1)	つ く ば み ら い 市 (3 0 . 6)		
境 町	(1)	五 霞 町 (6 4 . 8)		

図6 外来患者の受療動向



（３）県外からの受療動向（表１３）

県外からの受療は、総数で２，８０６人（患者総数の４．４％）であり、入院患者は１，４０４人（入院患者総数の６．５％）。このうち一般病床入院患者は、５８６人（一般病床入院患者総数の４．６％）で、療養病床入院患者は４０１人（療養病床入院患者総数の１０．８％）となっている。

また、外来の患者は１，４０２人（外来患者総数の３．４％）となっている。

患者の内訳としては、千葉県が８０３人（県外患者総数の２８．６％）と最も多く、次いで、栃木県６９０人（同２４．６％）、埼玉県４９６人（同１７．７％）、東京都３５３人（同１２．６％）の順となっている。

表１３ 県外からの受療動向

（単位：人）

患者数 区分	総数	県内 所在地		県外 所在地								住所地 不詳
		市町村 不明			福島	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	その他	
総 数	63,412	60,493	263	2,806	233	690	48	496	803	353	159	113
入 院	21,666	20,201	136	1,404	120	317	18	212	406	229	78	61
一 般 病 床(再)	12,607	11,997	99	586	51	136	10	111	171	71	36	24
療 養 病 床(再)	3,704	3,278	14	401	22	111	2	43	123	83	17	25
精 神 病 床(再)	4,581	4,178	23	391	47	70	6	58	110	75	25	12
結 核 病 床(再)	16	14	－	2	－	－	－	－	2	－	－	－
外 来	41,746	40,292	127	1,402	113	373	30	284	397	124	81	52

５ 入院期間（表１４）

入院期間別に繰越入院患者数とその構成割合をみると、１日～１４日が７，２９１人（当該患者総数の３３．７％）で最も多く、次いで、７３１日以上が４，４０７人（同２０．３％）と、この入院期間で全体の５割以上を占めている。

次に、病床別にみると一般病床は、１日～１４日が６，７０３人（当該患者総数の５３．２％）と最も多く、次いで、１５日～３０日が２，２２６人（同１７．７％）、３１日～６０日が１，５５８人（同１２．６％）と６０日未満の入院患者が多いことに対し、精神病床は、７３１日以上が２，７８３人（当該患者総数の６０．８％）と全体の６割以上を占め、入院期間が長くなっている。

表１４ 病床種別入院期間

（単位：人）

入院期間 病床種別	総 数	１～１４日	１５～３０	３１～６０	６１～９０	９１～１２０	１２１～１５０	１５１～１８０	１８１～２４０	２４１～３００	３０１～３６５	３６６～７３０	７３１日 以上	不 詳
		7,291	2,712	2,244	1,019	636	421	289	496	356	376	1,310	4,407	109
総 数	21,666													
精神病床	4,581	158	131	200	122	99	94	72	144	104	120	542	2,783	12
感染症病床	10	2	1	4	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－
結核病床	16	2	3	8	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－
療養病床	3,704	210	253	359	246	231	153	128	239	157	186	560	976	6
	医療型	3,552	208	247	352	244	150	126	232	151	183	520	907	6
	介護型	152	2	6	7	2	3	2	7	6	3	40	69	－
一般病床	12,607	6,703	2,226	1,588	596	277	152	82	96	75	51	147	533	81

（単位：％）

入院期間 病床種別	総 数	１～１４日	１５～３０	３１～６０	６１～９０	９１～１２０	１２１～１５０	１５１～１８０	１８１～２４０	２４１～３００	３０１～３６５	３６６～７３０	７３１日 以上	不 詳
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
総 数	100.0													
精神病床	21.1	2.2	4.8	8.9	12.0	15.6	22.3	24.9	29.0	29.2	31.9	41.4	63.1	11.0
感染症病床	0.0	0.0	0.0	0.2	－	－	－	－	－	－	－	－	0.1	－
結核病床	0.1	0.0	0.1	0.4	0.2	0.2	－	－	－	－	－	－	－	－
療養病床	17.1	2.9	9.3	16.0	24.1	36.3	36.3	44.3	48.2	44.1	49.5	42.7	22.1	5.5
一般病床	58.2	91.9	82.1	70.8	58.5	43.6	36.1	28.4	19.4	21.1	13.6	11.2	12.1	74.3

（単位：％）

入院期間 病床種別	総 数	１～１４日	１５～３０	３１～６０	６１～９０	９１～１２０	１２１～１５０	１５１～１８０	１８１～２４０	２４１～３００	３０１～３６５	３６６～７３０	７３１日 以上	不 詳
		33.7	12.5	10.4	4.7	2.9	1.9	1.3	2.3	1.6	1.7	6.0	20.3	0.5
総 数	100.0													
精神病床	100.0	3.4	2.9	4.4	2.7	2.2	2.1	1.6	3.1	2.3	2.6	11.8	60.8	0.3
感染症病床	100.0	20.0	10.0	40.0	－	－	－	－	－	－	－	－	30.0	－
結核病床	100.0	12.5	18.8	50.0	12.5	6.3	－	－	－	－	－	－	－	－
療養病床	100.0	5.7	6.8	9.7	6.6	6.2	4.1	3.5	6.5	4.2	5.0	15.1	26.3	0.2
一般病床	100.0	53.2	17.7	12.6	4.7	2.2	1.2	0.7	0.8	0.6	0.4	1.2	4.2	0.6

6 救急患者

(1) 傷病大分類にみた救急患者数 (表 1 5)

患者総数 6 3 , 4 1 2 人のうち、救急診療を受診した患者数は 8 , 1 7 8 人となり、 1 2 . 9 % を占めている。

これを傷病大分類にみると、「循環器系の疾患」 1 , 5 6 3 人 (救急診療患者総数の 1 9 . 1 %)、次いで「 損傷、中毒及びその他の外因の影響」 1 , 1 8 7 人 (同 1 4 . 5 %)、「 呼吸器系の疾患」 8 5 0 人 (同 1 0 . 4 %) の順になっている。

また、救急車を利用した患者数でみると、「 損傷、中毒及びその他の外因の影響」が 7 4 2 人 (救急車を利用した患者総数の 2 3 . 9 %)、「循環器系の疾患」が 7 2 6 人 (同 2 3 . 4 %) となり、両疾病で約 5 割を占めている。

表 1 5 傷病大分類にみた救急患者数と構成割合

傷 病 大 分 類	患者数(人)			構成割合 (%)		
	総 数	救急診療あり	救急車 利用あり	総 数	救急診療あり	救急車 利用あり
総 数	63,412	8,178	3,102	100.0	100.0	100.0
I 感染症及び寄生虫症	1,168	245	103	1.8	3.0	3.3
結核(再掲)	47	6	5	0.1	0.1	0.2
II 新生物	6,087	604	169	9.6	7.4	5.4
胃の悪性新生物(再掲)	394	54	14	0.6	0.7	0.5
結腸及び直腸の悪性新生物(再掲)	788	92	18	1.2	1.1	0.6
気管、気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	592	56	21	0.9	0.7	0.7
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	495	59	20	0.8	0.7	0.6
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	3,114	357	91	4.9	4.4	2.9
糖尿病(再掲)	1,807	224	28	2.8	2.7	0.9
V 精神及び行動の障害	6,525	278	53	10.3	3.4	1.7
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	3,617	137	27	5.7	1.7	0.9
VI 神経系の疾患	2,649	283	143	4.2	3.5	4.6
VII 眼及び付属器の疾患	2,352	79	3	3.7	1.0	0.1
VIII 耳及び乳様突起の疾患	369	25	14	0.6	0.3	0.5
IX 循環器系の疾患	9,566	1,563	726	15.1	19.1	23.4
高血圧性疾患(再掲)	2,668	101	17	4.2	1.2	0.5
心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲)	2,970	561	230	4.7	6.9	7.4
脳血管疾患(再掲)	3,288	793	434	5.2	9.7	14.0
X 呼吸器系の疾患	3,317	850	377	5.2	10.4	12.2
肺炎(再掲)	831	384	170	1.3	4.7	5.5
X I 消化器系の疾患	4,115	754	245	6.5	9.2	7.9
肝疾患(再掲)	351	78	26	0.6	1.0	0.8
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1,426	109	25	2.2	1.3	0.8
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,128	433	113	8.1	5.3	3.6
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	5,288	526	153	8.3	6.4	4.9
X V 妊娠、分娩及び産じょく	536	125	13	0.8	1.5	0.4
X VI 周産期に発生した病態	134	52	11	0.2	0.6	0.4
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	302	19	9	0.5	0.2	0.3
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,524	232	82	2.4	2.8	2.6
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3,926	1,187	742	6.2	14.5	23.9
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,530	307	2	7.1	3.8	0.1
不 詳	861	91	8	1.4	1.1	0.3

（２）救急患者の受療動向

ア 自足の状況（図７・表１６）

救急患者の自足率が５０％以上の市町村をみると、結城市、水戸市、日立市、つくば市、境町が８０％以上、牛久市など３市が７０％以上となっており、自足率５０％以上の市町村数は、１４市町となっている。

また、自足率が５０％に満たない市町村は、３０市町村あり、そのうちかすみがうら市、鉾田市など６市村は２０％未満となっている。なお、潮来市など８市町は、調査対象となる医療施設がないため、自足率は０となっている。

さらに医療圏別の受療状況をみると水戸保健医療圏が８９．５％と最も自足率が高く、以下、日立保健医療圏が８５．９％、取手・竜ヶ崎保健医療圏が８４．４％の順となっている。

但し、県内医療機関で受診した患者を調査客体としているため、県外医療機関で受診した患者については考慮されていない点に留意されたい。

図７ 自足率（救急患者）

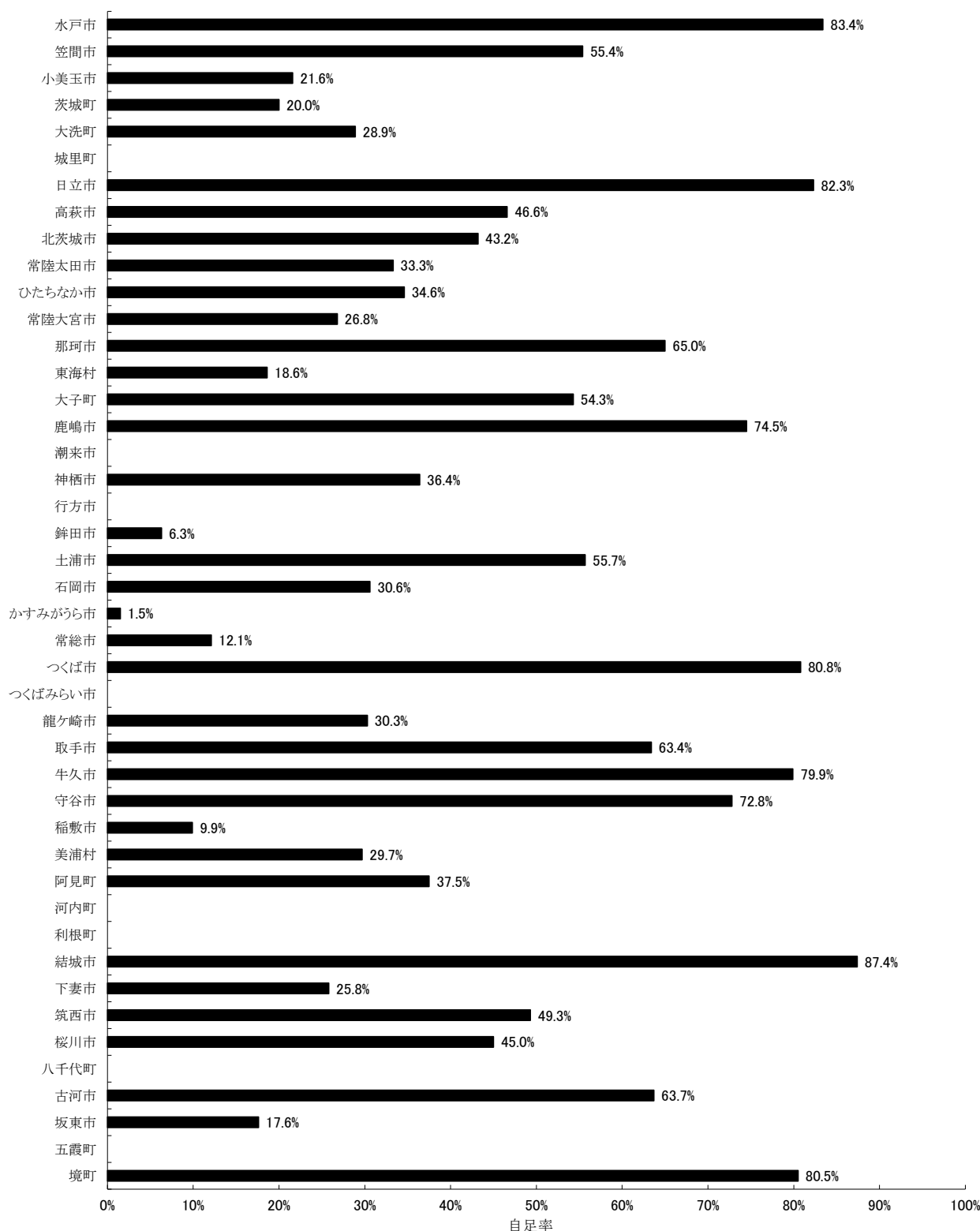


表 1 6 救急患者の医療圏別受療状況

【救急患者数】

(単位：人)

住 所 地	施 設 所 在 地									
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	総 数
水戸保健医療圏	1,656	9	114	7	50	9	4	1	－	1,850
日立保健医療圏	40	470	37	－	－	－	－	－	－	547
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	481	59	975	2	3	5	－	1	－	1,526
鹿行保健医療圏	115	1	11	430	86	11	8	－	－	662
土浦保健医療圏	44	－	1	2	326	77	64	－	－	514
つくば保健医療圏	7	－	－	－	24	543	133	7	2	716
取手・竜ヶ崎保健医療圏	10	1	2	2	56	70	764	－	－	905
筑西・下妻保健医療圏	13	－	－	－	7	150	5	424	14	613
古河・坂東保健医療圏	4	－	－	－	1	30	26	11	328	400
県内(市町村不詳)	52	－	8	－	－	6	13	－	－	79
県 内	2,422	540	1,148	443	553	901	1,017	444	344	7,812
県 外	31	15	32	38	15	24	52	59	94	360
住 所 地 不 詳	－	1	2	－	1	2	－	－	－	6
総 数	2,453	556	1,182	481	569	927	1,069	503	438	8,178

【自足率・依存率】

(単位：％)

住 所 地	施 設 所 在 地									
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	総 数
水戸保健医療圏	89.5	0.5	6.2	0.4	2.7	0.5	0.2	0.1	－	100.0
日立保健医療圏	7.3	85.9	6.8	－	－	－	－	－	－	100.0
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	31.5	3.9	63.9	0.1	0.2	0.3	－	0.1	－	100.0
鹿行保健医療圏	17.4	0.2	1.7	65.0	13.0	1.7	1.2	－	－	100.0
土浦保健医療圏	8.6	－	0.2	0.4	63.4	15.0	12.5	－	－	100.0
つくば保健医療圏	1.0	－	－	－	3.4	75.8	18.6	1.0	0.3	100.0
取手・竜ヶ崎保健医療圏	1.1	0.1	0.2	0.2	6.2	7.7	84.4	－	－	100.0
筑西・下妻保健医療圏	2.1	－	－	－	1.1	24.5	0.8	69.2	2.3	100.0
古河・坂東保健医療圏	1.0	－	－	－	0.3	7.5	6.5	2.8	82.0	100.0
県 内	31.0	6.9	14.7	5.7	7.1	11.5	13.0	5.7	4.4	100.0
県 外	8.6	4.2	8.9	10.6	4.2	6.7	14.4	16.4	26.1	100.0

イ 依存の状況（表 1 7）

特定の市町村への依存率の高い市町村をみると、かすみがうら市から土浦市への依存率が76.1％と最も高く、次いで、城里町から水戸市への依存率が71.9％、潮来市から鹿嶋市への依存率が70.9％、常総市からつくば市への依存率67.4％、下妻市からつくば市への依存率が65.6％の順となっており、特定の市町村への依存率が30％を超える市町村は27市町となっている。

表 1 7 特定の他市町村への依存率が高い市町村

(単位：％)

特定の市町	依存率が30％以上の市町
水 戸 市 (6)	城 里 町 (71.9) 茨 城 町 (59.1) 大 洗 町 (40.0) 常 陸 大 宮 市 (36.1) 笠 間 市 (33.7) ひ た ち な か 市 (33.7)
日 立 市 (2)	高 萩 市 (41.4) 北 茨 城 市 (36.9)
鹿 嶋 市 (3)	潮 来 市 (70.9) 神 栖 市 (53.8) 行 方 市 (30.2)
土 浦 市 (3)	か す み が う ら 市 (76.1) 石 岡 市 (37.5) 行 方 市 (32.1)
つ く ば 市 (4)	常 総 市 (67.4) 下 妻 市 (65.6) 八 千 代 町 (50.0) つ く ば み ら い 市 (38.5)
龍 ケ 崎 市 (2)	河 内 町 (46.7) 利 根 町 (32.5)
取 手 市 (1)	利 根 町 (30.0)
牛 久 市 (1)	龍 ケ 崎 市 (34.8)
守 谷 市 (2)	坂 東 市 (35.3) つ く ば み ら い 市 (32.3)
筑 西 市 (1)	五 霞 町 (50.0)
古 河 市 (1)	五 霞 町 (50.0)
境 町 (1)	古 河 市 (30.1)